

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業の概要

事業名	一般国道43号 名神湾岸連絡線	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県西宮市今津水波町 至：兵庫県西宮市西宮浜二丁目	延長	2.7 km		
事業概要	一般国道43号名神湾岸連絡線は、兵庫県西宮市今津水波町から兵庫県西宮市西宮浜二丁目を結ぶ延長2.7 kmの地域高規格道路である。				
事業の目的、必要性	一般国道43号名神湾岸連絡線は、名神高速道路、阪神高速3号神戸線(大阪方面)及び阪神高速5号湾岸線を連絡し阪神高速3号神戸線と国道43号に集中している交通を阪神高速5号湾岸線に分散させることにより、周辺地域の交通渋滞の解消や交通安全、沿道環境の改善を図るとともに、名神高速道路と阪神港をスムーズに連絡し、物流ネットワークの形成を図るものである。				
全体事業費	約1,050億円	計画交通量	約17,000台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.2	総費用：832億円 (事業費：709億円 維持管理費：124億円)	総便益：994億円 (走行時間短縮便益：908億円 走行経費減少便益：78億円 交通事故減少便益：8.3億円)	基準年：令和2年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=0.98 (交通量 -10%)	B/C=1.4 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.1 (事業費 +10%)	B/C=1.3 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C=1.1 (事業期間 +20%)	B/C=1.2 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・阪神高速5号湾岸線に交通転換することで、阪神高速3号神戸線の渋滞を緩和し、速達性・定時性が向上。 [(仮)西宮JCT・IC⇄第二神明接続部(月見山IC)所要時間] 上り【現況】39分 → 【整備後】25分(14分短縮) 下り【現況】34分 → 【整備後】25分(9分短縮)		
		事故対策	—	・注目すべき影響はない。		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	—	・注目すべき影響はない。		
		地域経済	◎	・物流の大動脈である名神高速道路と臨海部の阪神高速5号湾岸線を直結し、大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することで物流ネットワークの強化に寄与。 ・新たなネットワークにより阪神高速3号神戸線等の渋滞が緩和され、速達性が向上することで神戸港の物流効率化に寄与。 [速達性向上：ポートアイランドから(仮)西宮JCT・IC間の所要時間] 【現況】26分 → 【整備後】17分(9分短縮)		
		災害	○	・津波の影響を受けない道路ネットワークの構築により災害時の緊急輸送や速やかな復旧に寄与。 ・事故、災害、緊急時などに阪神東西軸におけるリダンダンシーの確保が可能。		
環境		—	・注目すべき影響はない。			
	地域社会	—	・注目すべき影響はない。			
事業実施環境	○	・都市計画手続き完了(R3.2)、環境影響評価手続き完了(R3.2) ・兵庫県知事、西宮市長、関西高速道路ネットワーク推進協議会が名神湾岸連絡線の新規事業化を要望				

採択の理由

費用便益比が1.2と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。また、名神湾岸連絡線の整備により、阪神高速3号神戸線の渋滞緩和、臨海部と内陸部を結ぶ道路ネットワークが確保されるほか、物資輸送経路の速達性の向上により神戸港及び京阪神の物流活動を支援し、津波の影響を受けない道路ネットワークの構築により地域の防災活動を支援するなど事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

関係する地方公共団体等の意見

【兵庫県知事】
一般国道43号「名神湾岸連絡線」を予算化することについて、同意します。
名神湾岸連絡線は、大阪湾ベイエリアと名神高速道路を結び、大阪湾岸道路西伸部と一体となり高速道路ネットワークを形成し、阪神高速3号神戸線等の渋滞緩和や沿道環境の改善、関西3空港の一体運用、阪神港等の物流拠点へのアクセス改善に資する重要な道路です。
本道路の整備により物流の定時性や速達性が確保され、新型コロナウイルス感染症収束後の地域経済の回復や地域の活性化につながるなど、大きなストック効果が期待できます。
さらに、激甚化・頻発化する災害に対しても、強靱で信頼性の高い道路ネットワークが構築され、災害に屈しない強靱な県土を構築し、県民の安全・安心の確保につながります。
事業実施にあたりましては、環境保全措置の着実な実施や引き続きの地元住民に対する丁寧な対応と、有料道路事業導入による早期整備と公共負担の軽減を図っていただくよう、特段のご配慮をお願いします。
本県としては、事業推進に必要な地元調整や関係機関協議への協力、有料道路事業導入に向けた地元調整、工事に伴う調整等、事業実施環境の整備に積極的に取り組みます。
つきましては、名神湾岸連絡線の令和3年度の事業化とともに、大阪湾ベイエリアにおける高速道路ネットワークの早期整備に向けた事業中の大阪湾岸道路西伸部の全線での早期着工と、名神湾岸連絡線の大坂湾岸道路西伸部に遅れることのない開通について、重ねてお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>一般国道43号名神湾岸連絡線は、名神高速道路、阪神高速3号神戸線(大阪方面)及び阪神高速5号湾岸線を連絡し阪神高速3号神戸線と国道43号に集中している交通を阪神高速5号湾岸線に分散させることにより、周辺地域の交通渋滞の解消や交通安全、沿道環境の改善を図るとともに、名神高速道路と神戸港をスムーズに連絡し、物流ネットワークの形成を図るものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ巨大地震による津波により、臨海部にある国道43号や県道等の緊急輸送道路が浸水する恐れがある。 災害時の緊急輸送や速やかな復旧のために、広域的な道路ネットワークが必要。 	<p>※兵庫県強靱化計画（R2.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路ネットワークの整備・強化のため、県内外の広域的連携を支える基幹道路の整備を図るとともに、その他幹線道路の2車線化や代替性の高い道路網の構築等を推進する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 阪神高速3号神戸線は、西宮IC以西で慢性的な渋滞が発生。 全国の都市高速道路における渋滞損失時間が上下線でワースト1位・2位を占めており、定時性の低さが課題。 	<p>※関西広域地方計画（H28.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本有数の大渋滞を抱える京阪神都市圏の道路交通状況を改善するとともに、国土の強靱化による安定した国土形成の礎を築くため、ミッシングリンクを解消し、地域産業の発展にも寄与する関西広域の高速道路のネットワークを早期に構築する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 名神高速道路西宮料金所を利用する商用車の約6割が港湾地域を発着地とする交通である。 西宮料金所を利用し港湾地域を発着地とする交通の約7割が渋滞している阪神高速3号神戸線を利用せざるを得なく、物流の速達性や定時性が課題。 国際コンテナ拠点港に指定されている阪神港の一部を担う、神戸港、尼崎西宮芦屋港があり、両港湾の取扱貨物量は年々増加傾向であるが、港湾発着の物流は名神高速道路西宮ICにアクセスするまでに混雑区間を通過している状況。 	<p>※関西広域地方計画（H28.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通がその機能を十全に発揮するためには、道路、鉄道、港湾、空港等がそれぞれの特性に応じて役割分担し、有機的かつ効率的な交通ネットワークを形成する総合的な交通体系を整備する必要がある。 高規格幹線道路、北陸新幹線（整備新幹線）、リニア中央新幹線等の高速交通ネットワーク、国際コンテナ戦略港湾等の早期整備・活用を通じた対流の促進を図る。
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、累積脆弱度の減少によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、阪神高速3号神戸線の渋滞緩和、臨海部と内陸部を結ぶ道路ネットワークが確保されるほか、物資輸送経路の速達性の向上により神戸港及び京阪神の物流活動を支援し、津波の影響を受けない道路ネットワークの構築により地域の防災活動を支援するなど事業の必要を支援するなど有効性の高い事業と評価する。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	尼崎西宮 芦屋港	伊丹市	5	0.06 (B)	0.04 (B)	▲0.78	0.00	0.03	○

事業の効率性
都市計画手続き完了（R3.2） 環境影響評価手続き完了（R3.2）